

# 意見交換会開催結果概要

- 1 開催日時 平成28年 2月17日（水）
- 2 時 間 開会 午後7時～ 閉会 午後8時39分
- 3 場 所 玉川こども図書館 2階交流ホール
- 4 参加人数 52名
- 5 出席議員 福田太郎議長、久保洋子副議長、  
中西利雄市民福祉常任委員長、  
小間井大祐市民福祉常任副委員長、  
大桑初枝市民福祉常任委員、清水邦彦市民福祉常任委員、  
秋島 太市民福祉常任委員、宮崎雅人市民福祉常任委員、  
高岩勝人教育消防常任委員長、  
坂本泰広教育消防常任副委員長、  
熊野盛夫教育消防常任委員、源野和清教育消防常任委員、  
森 一敏教育消防常任委員、小阪栄進教育消防常任委員、  
横越 徹教育消防常任委員、  
野本正人総務常任委員長、下沢広伸経済環境常任委員長、  
山本由起子市民福祉常任委員長、黒沢和規議会運営委員長、  
（オブザーバー議員）  
松井 隆議員、広田美代議員、前 誠一議員、  
麦田 徹議員、高 誠議員、喜多浩一議員、  
角野恵美子議員、小林 誠議員、玉野 道議員
- 6 次 第 別紙のとおり
- 7 結果概要 以下のとおり

小間井大祐市民福祉常任副委員長の進行のもと、福田太郎議長の開会挨拶に引き続き、出席議員及びテーマに関する関係団体等からの出席者の紹介を行った。次に、坂本泰広教育消防常任副委員長から平成27年度金沢市議会12月定例会議会報告を行った。中西利雄市民福祉常任委員長に進行をかわり、秋島太市民福祉常任委員から意見交換会テーマ報告として「金沢マラソンについて」の報告を行った後、テーマに関する関係団体等から意見の発表があった。その後、テーマに関する関係団体等との意見交換を行い、次に市民との意見交換を行った。小間井大祐市民福祉常任副委員長の進行に戻り、久保洋子副議長の閉会挨拶で閉会した。

## 1. 開 会

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

定刻となりましたので、ただいまより金沢市議会意見交換会を開催いたします。

本日の司会進行を務めさせていただきます市民福祉常任委員会副委員長の小間井大祐でございます。よろしくお願いいたします。

## 2. 開会挨拶

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

まず開会に当たりまして金沢市議会、福田太郎議長から御挨拶を申し上げます。お願いいたします。

【福田太郎議長】

皆さん、こんばんは。御紹介いただきました金沢市議会の福田でございます。

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

さて、きょうのテーマですが、金沢マラソンということになります。昨年11月15日に第1回が開催されました。おおむね成功だと思ってもよいと思っておりますけれども、まだ第1回目です。これから第2回、第3回、第4回と、金沢に金沢マラソンありというようにさせるためには、もう少し足りないところもあるのかなと思っておりますし、また、現場でいろいろ準備やお手伝いをいただいた皆様方にいろいろ意見をいただいて、それを2回目、3回目につなげて立派な大会に仕上げていきたいと思っておりますので、きょうは忌憚のない意見を出していただきまして、我々議会といたしましてもそれをなるべく反映していくように努力をしていきたいと思っておりますので、本日はよろしくお願いいたします。

きょうはどうもありがとうございました。よろしくお願いいたします。(拍手)

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

ありがとうございました。

### 3. 出席者の紹介

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

ここで、今回の意見交換会に出席している議員を紹介いたします。

先ほど御挨拶をいたしました福田太郎議長でございます。

【福田太郎議長】

よろしく申し上げます。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

久保洋子副議長でございます。

【久保洋子副議長】

皆さん、こんばんは。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

次に、今回の意見交換会を担当している市民福祉常任委員会及び教育消防常任委員会の委員を紹介いたします。

市民福祉常任委員会、中西利雄委員長。

【中西利雄市民福祉常任委員長】

こんばんは。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

宮崎雅人委員。

【宮崎雅人市民福祉常任委員】

こんばんは。よろしく申し上げます。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

清水邦彦委員。

【清水邦彦市民福祉常任委員】

こんばんは。よろしく申し上げます。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

秋島太委員。

【秋島太市民福祉常任委員】

こんばんは。よろしく申し上げます。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

大桑初枝委員。

【大桑初枝市民福祉常任委員】

こんばんは。大桑です。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

そして、福田太郎議長、久保洋子副議長も市民福祉常任委員会の委員です。

次に、教育消防常任委員会、高岩勝人委員長。

【高岩勝人教育消防常任委員長】

こんばんは。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

坂本泰広副委員長。

【坂本泰広教育消防常任副委員長】

こんばんは。よろしく申し上げます。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

横越徹委員。

【横越徹教育消防常任委員】

こんばんは。よろしくお願いたします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

森一敏委員。

【森一敏教育消防常任委員】

こんばんは。よろしくお願いたします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

小阪栄進委員。

【小阪栄進教育消防常任委員】

こんばんは。よろしく申し上げます。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

源野和清委員。

【源野和清教育消防常任委員】

こんばんは。よろしくお願いたします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

熊野盛夫委員。

【熊野盛夫教育消防常任委員】

こんばんは。よろしく申し上げます。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

以上になります。

次に、金沢市議会には市民福祉常任委員会を初め5つの常任委員会と議会運営をつかさどる委員会として議会運営委員会がありますが、各委員会の委員長も出席しておりますので、あわせて御紹介させていただきます。

総務常任委員長、野本正人議員。

【野本正人総務常任委員長】

皆さん、こんばんは。よろしく申し上げます。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

経済環境常任委員長、下沢広伸議員。

【下沢広伸経済環境常任委員長】

下沢でございます。よろしくお願いたします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

建設企業常任委員長、山本由起子議員。

【山本由起子建設企業常任委員長】

こんばんは。よろしくお願いいたします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

そして、議会運営委員長、黒沢和規議員。

【黒沢和規議会運営委員会委員長】

こんばんは。よろしくお願いいたします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

また、今ほど紹介いたしました議員以外の市議会議員につきましては、オブザーバーとして参加しておりますことを御報告させていただきます。

次に、本日のテーマである金沢マラソンについて、関係の深い団体等の方々に  
お越しいただいており、御紹介をさせていただきます。

北陸鉄道株式会社常務取締役、宮岸武司様。

【宮岸武司北陸鉄道株式会社常務取締役】

宮岸でございます。よろしくお願いいたします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

金沢市町会連合会会計、西村信彦様。

【西村信彦金沢市町会連合会会計】

西村でございます。よろしくお願いいたします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

金沢市公民館連合会副会長、富樫治男様。

【富樫治男金沢市公民館連合会副会長】

富樫です。よろしくお願いいたします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

金沢市校下婦人会連絡協議会会長、能木場由紀子様。

【能木場由紀子金沢市校下婦人会連絡協議会会長】

能木場でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

金沢市公民館体育部長連絡協議会会長、中川義広様。

【中川義広金沢市公民館体育部長連絡協議会会長】

中川です。よろしくお願いいたします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

金沢市スポーツ推進委員協議会会長、高山和枝様。

【高山和枝金沢市スポーツ推進委員協議会会長】

どうぞよろしくお願いいたします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

同じく副理事長、卯野貢司様。

【卯野貢司金沢市スポーツ推進委員協議会副理事長】

卯野です。よろしくお願いします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

公益社団法人金沢市医師会代議員会議長、三平伸一様。

【三平伸一公益社団法人金沢市医師会代議員会議長】

三平です。よろしくお願いいたします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

そして、ランナーチーム、チーム金港堂代表、宮谷隆之様です。

【宮谷隆之チーム金港堂代表】

宮谷です。よろしくお願いします。

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

次に、本日の意見交換会の進行について御説明いたします。

受付で配付いたしました資料のうち、意見交換会という表題の資料をごらんください。

こちらに次第がございます。次第の4になりますが、この後、議会報告といたしまして、昨年12月の定例月議会の概要を中心に議会の報告を10分程度させていただきます。その後、次第の5ですが、本日のテーマであります「金沢マラソン」について10分程度御説明した後、各関係団体等の皆様からテーマに関する意見発表をそれぞれ3分程度お願いし、それを踏まえて各関係団体等と市民福祉及び教育消防常任委員会との意見交換を10分程度させていただければと思っております。最後に、きょうお越しの市民の皆様との意見交換を時間の許す限り行いたいと思っております。

#### 4. 議会からの報告

##### ・平成27年度金沢市議会12月定例月議会報告

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

それでは、報告に移ります。

平成27年度金沢市議会12月定例月議会につきまして御報告いたします。報告者は、教育消防常任委員会の坂本泰広副委員長です。よろしくお願いいたします。

[坂本泰広教育消防常任副委員長が平成27年度金沢市議会12月定例月議会報告について別紙に基づき説明]

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

ありがとうございました。

#### 5. テーマ（金沢マラソン）に関する意見交換

## ・テーマについての説明

【小間井大祐市民福祉常任副委員長】

続きまして、本日の意見交換会のテーマであります「金沢マラソン」につきまして意見交換を行います。進行を中西委員長にお願いしたいと思います。

【中西利雄市民福祉常任委員会委員長】

それでは、テーマに関する意見交換の進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

説明資料は、金沢マラソンの概要と開催結果などを中心に作成いたしております。なお、スライドの資料は見やすさを考慮して要点のみを掲載しておりますので御了承ください。説明は、市民福祉常任委員会の秋島太委員が行います。

[秋島太市民福祉常任委員が意見交換会テーマ報告について別紙に基づき説明]

## ・テーマに対する各関係団体等からの意見発表

【中西利雄市民福祉常任委員会委員長】

それでは意見交換に入りたいと思いますが、まずは本日お越しいただいている各関係団体等の方から金沢マラソンでの役割や所感などを3分程度でそれぞれ発表していただきます。

それでは、北陸鉄道株式会社常務取締役、宮岸さんからお願いいたします。

【宮岸武司北陸鉄道株式会社常務取締役】

北陸鉄道、宮岸でございます。

冒頭、弊社の鉄道、それからバスの運営につきまして大変お世話になっておりますことを御礼申し上げます。ありがとうございます。

私、資料は用意しておりませんので口頭の説明になることをお許してください。

まず、初めての金沢マラソンでございました。私ども、路線バスをどうやって当日走らせようかと正直、大変悩みまして、かなり前から何度も何度もいろいろと担当者に検討させた上、当日を迎えたわけでございますけれども、特に路線バスは、全域で交通規制がかかりましたが、極力運休は少なくしろというふうに私も言いまして、できるだけ走らせていただいたんですが、その分、大変わかりにくい運行になったのではないかなと。やはり中心部、例えば百貨店だとかいろいろな商業施設の方々の通勤時間にも若干重なるようにも考えましたし、当然、そこへお買い物に行かれる方のことも考えまして極力動かしたわけなんですけれども、わかりにくい面は御理解いただきたいなということ。

例えばで言いますと、東部方面、平和町だとか花里だとか小立野、金沢大学とか、そちらのほうから来るバスは結局中心部へ入っていきませんので、全部、成巽閣のところ、兼六園下の横の小立野のほうへ全部途中から上げるようにしまし

て、成巽閣で全部回転して、そこを起終点にしたとか、そんな運営をやりまして、そこにはかなりのバスが集中してきますので、待機やバスがとまっていることもなかなか難しいということも思いまして、一部、兼六園下のほうへそのまま回送でおろしまして兼六園下の観光バスの駐車場を一部お借りしてそこで転回するとか、そんなようなことで例えば東方面は対応させていただきました。

成巽閣のあの辺でおろされるので、お客様もちょっと困ったなという方もいらっしやったようなので、これは今からまた来年に向けましてマラソン事務局の方々ともいろいろと相談をさせていただきたいんですが、例えばそのまま兼六園下まで、小立野の旧国立病院からずっと下へおりていって兼六園下ぐらいまで営業ができるようならば、当日は車も全然入ってきませんでしたし、バスは走れるのかなというふうに我々も現場を見て思ったりもしておるんですけども、そんなようなこともまた来年の課題として相談させていただいて、来年もまた極力、路線バスにつきましては運行する方向で考えたいというふうに思っております。全般的には大きなトラブルはなかったかなというふうには考えております。

それからもう1点、これは一部、次年度の要望にもなるんですが、当日、金沢駅の西口が大渋滞いたしました。これはマラソンの会合が終わった後の反省会の中でも申させていただいておるんですが、西口の観光バスの駐車場があふれてしましましてバスがなかなか入れない。JRが時間的にとまったという要因もあったんですけども、JRからいらっしやるお客様をお迎えにいく観光バスが入れなかった。一部交通規制の影響も受けたというふうには思っておるんですが、その観光バスが広岡から中橋の間に相当滞留しまして、そこに一般の路線バスも金石のほうから入ってくるバスだとか、実はそこをマイカーが通過して抜けていく抜け道にもなっていて、お昼ぐらいを中心に大変な渋滞をしたということがございました。

その辺の現状も申させていただいて、本音は、次回は駅の西口のところはマラソンコースにならないほうがいいなというふうに思って、御要望も申し上げたんですが、そこはどうしても通らなきゃいかんということでしたので、来年は広岡から中橋間をマイカーの通過するのを避けていただいて、マイカーが入れないようにして、バスだとかタクシーだとか公共交通と言われるもの専用でそこを通しただけであれば、何とかスムーズにバスも走れるのかなと。その点を非常に思いましたので、これは次回の、2回目の要望ということも踏まえまして事務局のほうにもお話しさせていただいておりますので、またぜひ御配慮のほどお願いできれば幸いです。

私からは以上でございます。

**【中西利雄市民福祉常任委員会委員長】**

ありがとうございました。

次に、金沢市町会連合会の会計、西村様、お願いいたします。

**【西村信彦金沢市町会連合会会計】**

町会連合会を代表いたしまして述べさせていただきたいと思います。

前回のマラソン、大変な人出だということでございます。切れ目のない応援ということで、大変多くの方々が応援に出られた模様でございます。

もともと町会連合会、町会長の仕事は一体何かと申しますと、人集めに金集めにお札配りと申しております。人集めと申しますのは動員でございます。今回このような切れ目のない、またゴール地点では7時間にもわたってずっと待ち続ける。そういう動員に関しましては、町会連合会、また、それぞれの近隣の町会長の皆さん方の並々ならぬお力があつたのではないかなとつくづく思っております。

ただ今回、ごみ問題でちょっともめております。そういうこともありまして、町会長さん等々にそういう動員の影響が出ないかなと危惧しているところでございます。いろんなところにいろんな影響が出てきますので、できる限りその影響を最小限に抑えて、こういう大きな大会に向けてなるべく素直な気持ちで取り組んでいきたいなと思っておりますので、ここにおいでの方議員さんのお力もお願いいたしまして、できるだけ速やかに事を進めていただけないかなと思っております次第でございます。

以上でございます。

**【中西利雄市民福祉常任委員会委員長】**

ありがとうございました。

次に、金沢市公民館連合会の副会長、富樫さん、よろしく申し上げます。

**【富樫治男金沢市公民館連合会副会長】**

公民館連合会の富樫と申します。

我々公民館連合会も実は一昨年の11月27日に3団体——町会連合会、公民館連合会、そして婦人会連絡協議会で市長のほうへ、マラソンの協力の申し入れをさせていただきました。そのことから我々は主に15カ所のスポット応援と、あと20万人を動員したといいますが、けれども沿道応援、この2つの役割を受けまして、それぞれの町会連合会、あるいは公民館、さらに婦人会、この3団体で実行委員会をつくりまして、そして当日に対処したということでございます。

特にスポットのステージ応援のところでは、ほとんど公民館が中心になって応援の演目、これをいろんな関係団体をお願いして演目を決めさせていただきました。例えば中学校、高等学校のブラスバンド、あるいは地元の太鼓、あるいはチアガール、よさこいソーラン、さらに伝承芸能であります踊り等、ステージで応援をさせていただいたところでございます。

また沿道応援につきましては、応援者の動員ということで、先ほど町会連合会のほうからもお話がありましたように、それぞれ関係する町会の方々にある程度人数を決めて要請いたしました。もちろんマラソンコースの沿道の周辺の住民の方々にも声をかけまして、ほとんど切れ間なく、ほかの大会で見られない沿道応援

援が切れ間なくあった。それが非常に参加されたランナーには力強い励ましになったということも聞いております。

あと二、三、反省点を申し上げたいと思っております。全体的には先ほどからお話がありますように、当初非常に天候の悪い中たくさんの方が走っておられたわけでございますけれども、非常に沿道応援が励ましになったということで、参加者も非常に満足して帰られたということも聞いておりますけれども、反省点といたしましては、交通整理の補充。我々実行委員会の問題でもあると思っておりますけれども、応援者の中でランナーが走っている中で道路を横断したり、あるいは応援が余りにも興奮したといたしますか熱気が上がって、要するにマラソンのコースの道路のところまで入っていった関係で、途中で給水ポイントがあるわけですが、どこにあるか人ばかりでわからなくなったような面もあったものですから、これは我々の反省事項として実行委員会でそういった交通整理をする方を補充しなければならないのではないかなというふうに思っています。

もう1点は、マラソンランナーの着衣の取り扱いです。我々たまたま第4スポットの富樫小学校前におったわけですが、そこまで走ってきますとかなりランナーも暑くなって、自分の着ている上着とかトレーナーとか、そういうものを脱ぎ捨てていくランナーが見受けられました。その取り扱いに大変苦慮したわけですね。要るものなのか、あるいは捨てるでもいいものなのか、そういったこともありますし、果たしてそれがもし要るものであった場合は、どこかの収納箱に入れて、そしてそれを本部の方が回収していただいてゴール地点でまた渡すというようなシステムをこれからとる必要があるのではないかなというふうに思っております。

もう1点は、我々の問題ですけれども、沿道やステージ応援の皆さんのトイレですね。事前に周辺施設に要請する必要があったんじゃないかなというふうに思っております。たまたま私どもの場合は、公民館とか、あるいは小学校がありましたので、そういったものをおかりして事前に準備をしておりましたので特にトラブルはなかったんですけれども、ほかのところでは応援に来たけれどもトイレができなくて困ったといったようなことも聞いております。

最後に、これは非常に大事なことでございますので、ぜひ市議会の皆さんにも御協力いただきたい。スポット応援の経費の増額。一応我々も多少マラソンの組織委員会のほうから補助金はいただいておりますけれども、かなり持ち出しがありまして、これは我々のそれぞれの実行委員会の中で各校下で多少負担をしたことになりました。中には、それを余りきつく言いますと、おまえら、それは強制ボランティアでないかというようなことも言われて大変苦慮したんですけれども、最終的には御理解をいただいて、それでは金沢市のためにこれだけぐらい負担しようというようなこともあったんですけれども、中にはそのようなお金を出すのはおかしいのではないかなというふうな方もおられました。

何にお金がかかったかといいますと、楽器ですね。太鼓とかブラスバンドの楽器はかなり慎重に運ばなければならない。専門業者が楽器を運搬しなければならない。その経費が3万、4万とかかるんです。そういうこともありまして、ぜひとも議会の皆さん方にも御協力いただき、金沢市のほうからもその辺の増額について御協力、御理解をいただきたいと、このように思っております。

以上でございます。

**【中西利雄市民福祉常任委員会委員長】**

貴重な御意見ありがとうございました。

次に、金沢市校下婦人会連絡協議会の会長であります能木場さん、よろしくお願い致します。

**【能木場由紀子金沢市校下婦人会連絡協議会会長】**

校下婦人会の能木場でございます。いつも皆様方、お世話さまでございます。

私たちは、最終ゴール地点の西武緑地公園のところで、もてなし鍋、カニのつみれ汁を1万2,000食用意いたしました。数量を聞きましてびっくりしましたけれども、前の年にプレ大会で4,000食のお鍋をしましたので、その約3倍ということで、私たちはいろいろ試食もしまして、皆さんに食べていただいて味も決めて取り組みをいたしました。金沢学院大の生徒さんたちも応援に来てくださって大変助かりました。

大きなお鍋、500人鍋ぐらいなんでしょうかね、それが8つ。それから少し小さ目のお鍋を3つ用意していただきました。大きなテントの中にセットしていただいて、朝7時から準備を始めたわけです。天候も悪くて雨だったので、きょうは体も冷えていらっしゃるのでも温かいのを差し上げようということで、準備はいろいろしたんですけれども、たくさんのランナーの皆さんがお越しになるので、組織委員会の事務局のほうで何時ごろがピークだというようなシミュレーションをしていらっしゃいましたので、一応番号順に全部で11あるお鍋を、この鍋が済んだらこれ、空っぽになっては次にするようというふうな、初めてのことでいろいろ準備をしてくださったんですけれども、やはりピーク時になると予定どおりにはまいりません。でも、少し混乱もしながらも、それこそ主婦の力で臨機応変にその場を何とか乗り越えまして、皆さんに温かいおみそ汁を提供できたかなというふうに思っています。

第2回に向けての反省を、私たち、つくりながらしておったわけですがけれども、食材をゆでるお鍋とみそ汁だけのお鍋を分けると、全部で11もあつたお鍋が要らんがでないかというような主婦の立場からいろいろ考えながら、第2回に向けてもっと効率よく、それから余らずにできるんじゃないかというようなこともありまして、少しお汁が残ったりするお鍋があるので、順番にそのとおりじゃなくて、お汁があれば、それにすぐつみれの団子を戻したのを入れれるし、何とか私たちでもっと効率いい仕方があるねというようなことで、市婦連の中ではいろいろ反

省点を考えて、また来年度に向けて頑張りたいというふうに思っております。

仕上がったみそ汁を皆さんに提供するわけですが、初めのばらばらと入っていらっしゃるときは全然問題はありません。テントの前に誘導のために、行列して食べていただくというような柵をジグザグに設けてあったんですけれども、テントに向かって縦にさせていただくと、選手の皆さんも長いこと行列しなくていいんじゃないかなというような思いもありました。2回目はそのようなことも考えていただいて、選手の皆さん、疲れて帰って、着替えもされて一息つかれていらっしゃるんですけれども、お天気も悪かったせいでしょうか、なかなかジグザグの柵の中に入らずに、横から真っすぐ一直線に私たちの鍋のほうへ向かっておいでの方がほとんどでしたので、何列も縦にさせていただくとよかったなというふうに私たち、おあげしながらそんなふうに思っておりました。

お鍋のほうは主婦の力で、みんなで頑張ったねとって後で学院大の生徒さんたちもねぎらって、何とか無事に終わりました。朝の真っ暗のときに出ていきまして、夜はお鍋を洗って帰ったのは7時ごろでしたかね。真っ暗に出て、帰りも真っ暗で、本当に皆さん方にはお世話をおかけいたしましたけれども、それでも充実した思いで戻ってまいりました。

参加したランナーの方にたまたま知った方もお見えでしたので、その方のお話をちょっと聞くことができました。雨でしたので、出発のしいのき迎賓館のところのトイレの数が足りなくて大変な行列で、出発時間に間に合うか心配しながら、トイレも行かないとと思って行ってきたと言ってもらっていました。途中のトイレの数はちょうどいいぐらいで、待つこともなくトイレをしようと思えばすぐ入れてとてもよかったです。それから、ゴール間近になる西部方面といいましょうか、ゴールに近い地点になると、早くゴールしたいという思いもあるんですが、トイレを利用する方が少なかったというふうにおっしゃっていました。だから少し配分も考えていただいて、出発点はたくさん、途中はことしの分がちょうどよかったですらしくて、ゴール近くになると余りトイレの数がなくてもいいというふうに感じたとおっしゃっていました。

それから、今度はペア枠というのでしょうか、先ほどの説明でペアのエントリーも実施ということになっておりましたから、よかったなというふうに思っております。ただ、この方は自分が出て、少し体調も心配なので、奥様が看護師さんなのでぜひ2人で一緒に走りたいという思いで申し込みをしたんですけれども、奥様のほうが外れて旦那様だけ出られた。この方のお話でしたけれども、ぜひ抽せん漏れになって2人ともだめというのかわいそうかなと思ったり、御夫婦であったり親子であったり、または恋人同士であったり、きょうだいも楽しいですし、何かそれも少しあったらいいかなというふうに先ほどのお話の中でそう思いました。

先ほど町連さんも公連さんもおっしゃったように、途切れることのない応援が

金沢マラソンは最高だったというふうに出られたランナーの方のお話でした。

以上です。

【中西利雄市民福祉常任委員会委員長】

ありがとうございました。

次に、金沢市公民館体育部長連絡協議会会長の中川さん、よろしく願いいたします。

【中川義広金沢市公民館体育部長連絡協議会会長】

我々の団体は、受付2日間が主で、あと本番の15日はコースの沿道整理、そういうことを行いました。

受付のほうを2日間やったんですけれども、一般の方々が5時ごろまでというふうな設定が多くて、あとの9時ごろまでの間に人手が不足するというような事態になりました。そこで5時までの方に1時間でも2時間でもお願いしてやっていただいたというのがありました。

受付なんですけれども、年をとった方々の団体の方で、選手に配る袋詰めにしたやつがあるんですけれども、それを箱に詰めてあるんですけれども、その上に座る人がいるんです。注意したんですけれども言うことを聞かないんです。それが一番困ったかなというのがあります。どうせ休むなら廊下へ出て休んでくださいと言うんですけれども、返事もしないし、そのまま座っているというような状態がありました。それが一番まずい点かなという反省です。あとのところは皆さん頑張っ、受付のほうはスムーズにいったのではないかと考えています。

あと本番の15日の沿道整理なんですけれども、私は旭町でやっていたんですけれども、ちょうどそこに応援スポットもありまして、右に曲がる直角のところの内側に応援スポットがあったんです。ここにあると、選手というのは右へ曲がっていくと応援というのは余り見ることができないというような。その前にも応援の方々がいるので、応援のあり方といいますか、そういうものをちょっと考えたほうがいいんじゃないかと思いました。

そこを昼過ぎで終わりました、個人的に産業展示館のほうに行きました。産業展示館に入ってくる方は、ちょうど直角になりますので、その前のところで太鼓の方とかが応援していたので、こういう角度だったらちょうどいいんじゃないかなというように思いをしながらそこで応援をしていました。

たまたまそこは道路なので車どめがあるんです、上げたり下げたりするやつが。ここにつまづいて転ぶランナーが二、三人いました。見た瞬間に、これはまずいなという思いはしたんです。走ってくる人はそんなところは余り見てないですよ。下ばかりとか。前のほうを見ているので。また応援の人を見たりするので。それは次回にはぜひつまづかないような形にしていきたいなと思いました。

3日間通じて、大体いい形で終えられたかなというのが一番の印象です。

以上です。

**【中西利雄市民福祉常任委員会委員長】**

ありがとうございました。

次に、金沢市スポーツ推進委員協議会の高山会長さん、よろしくお願いたします。

**【高山和枝金沢市スポーツ推進委員協議会会長】**

日ごろ私たちは皆さん方に一番お世話になっておる団体だと思っております。私たちは、市内の60公民館から男女1名ずつ推薦されまして、市長さんのほうから委嘱状をいただいて業務に当たっておる者なんです。ですから市のほうのいろんな行事とかそういったことにはお世話させていただいておる団体です。

私たちの業務といたしまして、12日の配布物の袋詰めから入りました。そして前々日、前日の受付業務、そして当日は体育部長会と一緒に沿道の整理なんですけれども、それはボランティアさんのリーダー、副リーダーとして動きました。

私たちが思っているのは、受付業務なんですけど、受付はIDチェックがあり、それからナンバーカードをお渡しして、そして参加賞のTシャツをお渡しするということになっているんです。IDチェックとナンバーカードを受け取るころは大体わかるんですけど、Tシャツの受け渡しが最初のところへずっと戻って奥まったところだったらしくて、皆さんがわかりづらいとおっしゃって、そこまで御案内するような羽目にもなりました。だから壁面とかそういったところに矢印でTシャツ受け渡し所はこちらですよというような、そういう表示が必要だと思いました。

県外からの参加者が60%ということなので、新幹線が着いたり電車が着くたびにどっと参加者がおりてこられるんです。そのときは県外の方たちはお一人ではないんです。家族連れであったり引率されている人だったり付き添いの方だったり、たくさんいらっしゃいました。一緒にIDのほうへ来られるんですけど、IDのほうは机を3つぐらい並べて細目の通路にしてありました。そこへどっど行かれると、手前のほうでたくさん詰まってしまうんです。気がつきましたので、家族の方ですかということで、こちらのほうに出て待っていてくださいということで御案内させていただきました。だから来年は、ぜひ家族とか付き添いの方の待機場所を設けていただければ、少しはスムーズにいくんじゃないかなということは思いました。

それとTシャツ渡し、記念品渡しのほうも、その3つぐらいの場所を見えるようなところで配置していただければ一番ありがたいんじゃないか。来られる方は、幾ら配置図をお渡ししてもわからないんですよ。結構場所が広いですから、どこへ行ったらいいんですかということの問い合わせが随分ありましたので、ぜひ1カ所で参加賞渡しまでできるような、見渡せるような場所の配置を考えていただければありがたいなと思いました。

15日の沿道整理なんですけれども、私はちょうど山環の窪2丁目から山科のほうだったんですけれども、本当にスムーズにいきました。一般のボランティアさんと事前の打ち合わせはあったんですけれども、私たちのところの何か所かは学生さんだったものですから、ボランティア打ち合わせのときに行ったんですけれどもお会いできなくて、別の日に学校へ行かれて説明をなさるということなので、どうしてこういうことになるんだろうと思いました。やっぱり事前にボランティアしてくださる方々と顔を合わせておかないと、当日一遍にというわけにはいかないと思いました。でも市の職員の方、主任の職員の方は機転をきかせていただいて、初めてですからということで、私たちの見守るところを端から端まで全部歩いて、どういふことがあるか見てみましょうということで全員で歩きながら、あなたはここを担当してください、ここを担当してくださいということでしていただいたので、すごく助かりました。

今後なんですけれども、朝、集合時間に行きましたら、班長さんと県の職員の交通整理の方、そして私たちボランティアリーダーとボランティアということでマニュアルには書いてありましたし、聞いていたんですけれども、主任さんという方がいらっしゃったんです、お1人。主任さんとは全然打ち合わせというのがなかったもので、せめて市の職員の方と陸協の主任さんとの打ち合わせは今後ぜひしておいていただきたいなと思いました。

うちのほうは半分交通規制がかかっております。山側が田上のほうから窪のほうへ抜けるところは車は動いておりました。ですからきっちりと打ち合わせをしておかないと本当に大変なことになりまして、規制解除の前に裏から、ここなら行けるよと通して下さったところがあるそうなんです。そこは通行どめで、県の職員の方が対応していらしたんですけれども、次から次へとどんどん入ってくるものですから本当に大変でした。それも山側の農道で下へ通る道があるんですけれども、そこへの案内看板一つないんですよ。どこへ回ったらいいかわからないということで、私も車一台一台、走りながら、こちらのほうを回って進んでくださいということで誘導はしましたけれども、そういった細かいところの看板とかそういうことも必要じゃないかなとつくづく思いました。

交通規制解除の時間はちゃんと決まっております。そして主任さんのほうに連絡があって、それで解除ということになるということで私たち最初から聞いておりましたが、交通規制の解除になる15分も前に車が入ってこられたんです。だからこれはどこで指令を出して、どういうふうな形になっているのか。今後、2回目の大会にはきっちりとしていただきたいなと思いました。

沿道の応援の方は、本当に皆さん言うことを守ってくださって、すばらしい応援だったと思います。

以上です。ありがとうございました。

【中西利雄市民福祉常任委員会委員長】

ありがとうございました。

次に、公益社団法人金沢市医師会代議員会議長の三平さん、お願いいたします。

【三平伸一公益社団法人金沢市医師会代議員会議長】

三平伸一でございます。このたびはお疲れさまでございます。

私は、当日は本部でただ座っておっただけでありまして、救護本部の副部長ということだったんですが、ランニングドクターの統括という仕事をさせていただきました。

まとめたものがお手元にあるかと思えますけれども、医師会が主体となっていたこととしては、救護所の設置と対応、それからランニングドクター、走りながら異常を見つければそれに対応する。それともう一つは、これが肝でありますけれどもAED隊の十分な補充ということで、この3つで対処しました。

とにかく第1回であって、第1回で心肺停止を出したくない。出た場合は絶対に蘇生できるように。それには何が大事かというと、ランニングドクターとAED隊が全てだと思いましたので、AED隊はほかの市民マラソンではないくらい、33班に分かれていまして、固定AED隊は5班、14名で、移動、自転車AEDを背負って同じコースを行ったり来たりするというそれが28班、105名。これだけのAED隊をそろえまして対処しました。

ランニングドクターは、実を言うと30人以上欲しかったんですが、神戸マラソンと重なったため、北陸3県、県内の走れるドクターはみんな救護所に駆り出されまして、ランニングドクターはJMJ A——日本医師ジョギーズ連盟というのがありまして、走るのが死ぬほど好きなお医者さんとか看護師さんの集まりで、そこから募集しまして、全て関東、関西、名古屋とか北陸3県以外の方です。30人欲しかったんですが、そういうこともあって25人ということで最低人数で対処しました。

救護所は15カ所。人員は、ここに書いてあるように医師38人、看護師71人、消防の方30人、市の職員の方51人。これだけの人数で対処しまして、まず結論を言いますと、AEDの使用はゼロです。これは非常にラッキーだったと思います。この気温で雨に打たれて厳しいレースでありながら、ゼロというのは非常によかったと思います。ただ統計によると5万人走れば1人心肺停止が出る。1万2,000人ですから出なくて当然といえば当然なので。あと来年、再来年、3年後が危ないかなど。神戸マラソンも4年目で心肺停止が出ました。幸い蘇生しましたけれども。それを考えると決して喜んでばかりはおれませんけれども、全てはAED隊がいかにAEDを早く準備できるかですから、来年も同じような体制で臨みたいと思います。

救護所の利用者は380件。多いのか少ないのかと思いますが、1万2,000人参加では380件というのは多いと思います。東京で3万人ですけれども大体500件を超えるか超えないかですから。天候も関係したと思いますけれども。救急車利用は

16件でして、ほとんどは低体温症です。入院されたのは2件ですが、すぐに退院されまして、大きな問題はありません。

なぜ低体温症がこんなに出たかというのは、気温がだんだん下がっていったというのが一つと、それからスタート待ちのときに降雨が激しかったのと、スタートしてしばらくしてからまた降雨が激しかった。それでも16件と少なかったのは、市で用意していただけた簡易ポンチョ、あれを手渡していただいたので、全ての方が雨よけをつけていましたから、それで低体温症が少なかったんだと思います。もう一つ原因として、なぜ低体温症が後半にこんなに出たかというのと、前半のエイドは随分用意されていたんですが、5時間クラスのゆっくり走っているランナーのためにエイドが足りない。バナナしかないという話で、つらくなるとバナナはなかなか食べられないので、もっと体に入りやすいものを。食べ物を食べると体温が上がりやすいので、それをぜひとも用意していただきたいと思います。

神戸マラソンも第1回のときは水分が足りないと。自動販売機でランナーが水分を補充していたというくらいですから、やむなきこともあるかと思えますけれども、それは次回何とかしてほしいと思います。

それから、救護所が足りないという意見もありました。40キロ、41キロのところで少し足りない。1カ所どこかできつくしてほしいと。それから、備品が不足するところがあった。20キロから30キロの間で4カ所ほどの救護所が非常に混雑しまして、毛布であるとか備品が足りないと。ほかの救護所から何とか補充して間に合わせたという状況なので、来年は各救護所によって幅を持たせたらいいんじゃないか。

もう一つは、実を言うと救護所で足がつったりとか筋肉痛には対処しないと。それを対処していたらほかの重症の人を診れないということなので対処しないようにして、これは救護所で対処するのは無理だと思うんですけども、もし来年そういう状況になりましたら、ボランティアで久光製薬さんとかそういうところで、エアーサロンパスとかそういうものをボランティアの箇所を設けてやったらいいかなと思いました。

あとは、余りたくさん話しても、これからまた意見交換のときに意見を述べるものがなくなると思いますので、これで終わりにしたいと思います。

**【中西利雄市民福祉常任委員会委員長】**

ありがとうございました。

それでは、ランナーチームでチーム金港堂の代表、宮谷さん、よろしく願いします。

**【宮谷隆之チーム金港堂代表】**

ランニングチームで、ランナーの代表としてきょう来させていただきました宮谷と申します。よろしくお願ひいたします。

金沢市には大きなランニングチームは、私の知っている限りでは3つ、4つあ

るんですけれども、うちのチームは登録で120名ぐらい。何年かやっていますので、転勤でどこかへ行ったとか、昔は走っていたけれども今は走っていないというメンバーもいますので、実際走っているメンバーは約70名ぐらいなんですけど、そのうち運がいい人間が多かったのか40名ぐらい金沢マラソンを走りまして、そしてペースランナー、3時間、3時間15分と15分置きにありましたけれども、ペースランナーに十数名、うちのチームから応援といいますか出走させていただきました。出走したみんなから、いろいろ気づいたことは金沢市のマラソン課のほうにフィードバックもさせていただいております。

開催に当たりまして、事前にいろいろ新聞で議会の金沢マラソンに対する意見とかも見ておったんですけれども、おおむね非常に応援していただいているというのを感じておりまして、一市民ランナーとしても非常にありがたいなというふうには思っております。

マラソンを評価するサイトがありまして、ランネットというのがあるんですけれども、そこでの評価も93.4点ということでしたので、100点満点ということはないと思いますけれども、数字的に言うと、率にしてあと6.6%について完全にすれば100%になるんじゃないかというような高得点。残念ながら隣の富山マラソン、2週間前にありましたけれども、1点ほど負けておりましたが、多分天候のこともあるんじゃないかなと。たまたま私も富山マラソンを走りましてけれども、2週間前は晴天で、立山もきれいに見えるということもありましたので。ただ、運営面に関しては、金沢市も負けてないというか、それ以上のものだったなというふうに両方走ってみて思っておりますし、コースもタイムが狙える高速コースであることは富山に対して負けていないというか、いいコースだったというふうに認識しております。今、三平先生から神戸マラソンのお話がありましたけれども、得点で言うと神戸マラソンよりも金沢マラソンのほうが評価が高いということが出ております。

あと、応援のこととかありましたけれども、ほぼこの点数どおりに高評価できるんじゃないかなというふうに走っている人間からは思いましたけれども、あとはサイトの書き込みだとか皆さんからの意見を聞くと、細かいことで給食のこと、当日の会場までの交通手段がちょっと乏しかったということ、トイレのこと。それからランナー目線から言うと、ブロックごとにAブロック、Bブロックと集まるんですけれども、ロープで引いてあったものですから横入りする人間がいた。都市型マラソン、東京マラソンとかだったら完全なゲートになっていまして絶対に横入りはできないというようなことがありまして、その辺を改善すればランナーとしてのマナーの改善にもなるんじゃないかなというふうに思いました。

そのほかは、今お話ししたような細かいことを改善すればいいと思いますし、何よりも今までどっちかと言うと、金沢市は市民のマラソンに対する文化というものはないし、応援する文化というものはなかったのが非常に心配はしていた

んですけれども、20万人もの応援があったということで、このまま継続して行って、そういうマラソン応援に対する文化が根づけばいいなど。実際、東京マラソンは10回ぐらいやっていますけれども、最初は応援が下手だったというふうに聞いていますから、これからのそういう積み重ねが金沢マラソンという文化を金沢市が育てていくんじゃないかなというふうに思っております。

最後に、私は片町商店街で商売をやっていますけれども、商店街で何を言っていたかということだけお話ししますけれども、特に商店街としてはお店からクレームというのは全くありませんでした。ただ、午前中はお客さんが来なくて暇だったというような話がありましたけれども、前日には食事をとるためにランナーが来たというお店もありましたし、そういう意味ではクレームというものではなくて、お祭りみたいな感覚で、開催自体に不満を持っているお店は全く私の耳には入ってきておりませんので、商店街としてももちろん横断幕とかを用意して応援はしていたんですけれども、おおむね今後も応援していきたいというような意識が強いというふうに思っております。

以上でございます。

【中西利雄市民福祉常任委員会委員長】

ありがとうございました。

貴重な御意見をいただきました。

#### ・各関係団体等と議会との意見交換

【中西利雄市民福祉常任委員会委員長】

ただいまの御意見などを踏まえて、各関係団体等の皆さんと委員会の意見交換をさせていただきたいと思っております。発言されます方は挙手をお願いいたします。

【高岩勝人教育消防常任委員会委員長】

皆さん、本当にありがとうございます。金沢マラソンが成功だったのではないかというふうに皆さんの評価を得ているのは、きょうお越しの関係団体の皆さんのおかげだったなということを改めて認識することができました。ありがとうございます。

三平先生、先ほどの第1回目で絶対に心肺停止は出さないという意気込みがこの皆さんの応援体制からひしひしと感じておりまして、万が一にも万が一に備えていただいたということでもありますけれども、再度、今後気をつけなければならないというような、来年は少し早目になったようではありますが、それでも10月の終わりでありますから気候、気温の変化によってまた応援体制なんかも変わってくるんだろうと思っておりますけれども、いろんな意味で来年もそういう心肺停止が出ないようにするために、準備というか、そういったものでもし考えられるものがあれば教えていただきたいと思いますと思うんですけれども。

【三平伸一公益社団法人金沢市医師会代議員会議長】

ありがとうございます。

来年、10月23日になるという話を聞きましたときに、あちゃーと思いました。実を言うと、11月13日だと、天気が悪いと昨年みたいな低体温症が起きるんですが、雨さえ降らなければマラソンを走るには一番いい状況であるわけです。これが10月23日になると、低体温症は激減しますが、ちょっと太陽が照りますと熱中症が起きる可能性が極めて高くなると思います。現に私が出場しました2年前の大阪マラソンは、23度か24度まで上がったんですが、ゴールでは車椅子が足りないくらい熱中症の人が出た。低体温症は確かに怖いんですが、低体温症というのは走れなくなって救護所で回収されて、しばらく休んで、やっぱりやめますととなりますが、熱中症の方というのはボタンとってしまうので、上がった体温を下げるというのは極めて厳しい状態です。救急車が今回は16件でしたが、天候によってはもっと必要になることもあるかと思っておりますので、それがちょっと心配です。

これはランナー個人の心構えになると思うんですが、ちょっとでも体調が悪い人は無理しないでほしい。それでも何とかなるぞと思って走る方が多いんですが、それで思わぬことになる方もいる。昔は心肺停止というのはゴール後半に多い。直前とか言われていたんですが、去年の大阪マラソンはスタート500メートルで心肺停止になった方もおられますし、全てのコースで対応しなくてはいけないということと、その日の気候で左右されるので、ことしまた直前というか、1カ月、2カ月前から医療班で勉強会をするんですけれども、かなり念入りに対処しないと。結構去年は幸運だった。金沢市は持っているんだなというか。あれだけの気候でも残念なことがなかったもので、本当に十分に対処していかないと不安ではあります。

お答えになったかどうかわかりません。

【中西利雄市民福祉常任委員長】

ありがとうございました。

ほかございませんか。時間も迫ってきておりますので、各関係団体との意見交換を終わらせていただきたいと思いますというふうに思います。

## ・市民との意見交換

【中西利雄市民福祉常任委員長】

次に、きょうお越しの市民の皆さんと市議会との意見交換をさせていただきたいと思います。

なお、意見交換を始める前に注意事項について説明いたします。発言を希望する方は挙手をお願いいたします。私が指名いたしましたら係員がマイクをお持ちいたしますので、意見を述べる前にお住まいの町名とお名前を言ってから御発言願います。なお、今回は議会として開催している意見交換会でありますので、議員の個人的な見解は述べないこととしておりますことを御了承願います。

また、本日の意見交換会の内容は、後日、金沢市議会のホームページに掲載いたします。皆様方からいただきます御意見につきましても掲載させていただきますことをあらかじめ御了承をお願いいたします。

それでは、御質問のある方は挙手をお願いいたします。

#### 【参加者】

私は、マラソンが行われる前までは、なぜ二番煎じのマラソンを金沢でするのですかという意見を持っていましたが、実際に応援してみると、すごく楽しくて、選手に励まされたような、そんな感じを受けたので、非常によかったのではないかというふうに思いました。

ところで、先ほどからいろいろ反省とか提案がありましたけれども、3つの点について質問させていただきたいと思います。

1つは、今回の金沢マラソンで収支がどうであったのか。お金を幾ら使ったんですかという質問です。

2番目は、事前と事中のメディアを使っての報道というか放送方法は結構あったんですけども、終わった後はほとんどマラソンについてなかったものですから、ことしはもうやめておくのではないかというふうに思っていたんですけども、やはり金沢は観光都市でリピート客を大事にしたいまちですので、ぜひ事後のいろんな広報活動もあわせて検討していただければと思います。

3番目、最後ですけども、金沢マラソンはこうあったらいいのではないかなと思ったことが一つあります。それは、招待選手が一番最初に走られて、後で1万2,000人の方がだーっと走っていかれるということは、どこのマラソンでもそうできて、初めから1番の人は最後まで1番になってしまう。これでいいのだろうか。市民マラソンだったら、特に金沢で新しくやるマラソンであれば、一番最初は抽せんか何かで選ばれた人が100人とか200人いて、そして区間で1位になって、広坂では誰かが1番、兼六園下では誰かが1番、武蔵ヶ辻では誰かが1番。それをプロの人というんですか、そういう人が追い抜いていくような形で進められたほうが市民としても1番になれたというよううわさが事後にメディアに使われるわけですから、そういうマラソンもあってもいいんじゃないか。実力のある人だけが優勝するのではなくて、実力のない人も楽しいマラソンができれば、もっとおもしろいことがあったのではないか。例えば実力のある人が1万2,000人の中に100人配置されたとして、ごぼう抜きで何人抜いたかというようなことも競えるわけですから、もうちょっとそういう意味ではマラソンの内容について、ほかのマラソンとは異なる金沢らしいマラソンの検討をいただければなと思っております。

#### 【中西利雄市民福祉常任委員長】

1点目のマラソンの収支であります。今、私どもの手元にございませんで、はっきりとしたお答えはできないんですが、黒字であったことは間違いはないとい

うことでありまして、わかり次第ホームページ等々で報告をさせていただければというふうに思っております。

今後の広報活動についても、金沢市広報あるいはマスコミ等々を通して、市民の皆さんに、また県外ランナーの皆さん方にしっかりと周知していけるように取り組んでまいりたい、このように思っております。

3点目につきましては、これからしっかりと議会でも議論していきますけれども、宮谷さん、何か……。

**【宮谷隆之チーム金港堂代表】**

今回の金沢マラソンは、特別、招待選手というのとはなかったですね。招待選手というのとはなくて、速い人がたまたま速く走っておただけだと思えるんですけども。逆に招待選手を呼ぶようなちゃんとした大会であったら、その人のタイムが優先されるので、今は難しいと思います。ただ最近、混雑を防ぐためにタイム順でブロックに分けてスタート時間をずらすというようなマラソン大会をぼちぼち見かけます。あとは転倒があるとか、申告スピードを速く言って、実力がないのに前のほうに出ようというような人もいますので、例えばゼッケン番号をペースで書くというようなこともやっています。それと、もしランナーの方が楽しんでいただくんだったら、最近よく取り上げられていますゼッケンに名前を書くとか、自分の名前を書くとき周りの人が応援してくれるというようなこともありますので。危険を回避するためにいろんなやり方はあると思いますけれども、それ以外に、ランナーとしても楽しめる、それから応援するほうも楽しめる方法というのがたくさんあると思いますから、その辺を模索していてもいいんじゃないかなというふうに市民ランナーの意見として思っています。

**【中西利雄市民福祉常任委員長】**

ありがとうございました。そのほかございますか。

**【参加者】**

今ほどの質問にもありましたが、予算についてですけれども、私もちょっと気にはなっていたんですが、マラソン第1回目が成功したことは喜ばしいことなんですけど、やり方についての反省はいろいろ出ていますが、お金についての反省はどうだったのかということがどこにも出ていません。組織委員会のホームページを見ても出ていません。それで金沢市の広報広聴課に確認しましたところ、ことしの5月の組織委員会の開催のときに2015のマラソン大会の収支報告を公開でやりますよという返事がありました。でも、2016、2017、まだやりますよと。予算の反省もないのに、先にやることありきというのは、私は順序が逆じゃないかなと思います。今回、無駄がどうあったのかと。我々の税金を使ってやっていて、予算は3.3億円だったらしいんですね。そのうち金沢市は7,000万円出しているということで、今、中西さんから黒字だったことは間違いないと。黒字だったら結構なんですけど、そういうお金の使い方も何か金沢市の特徴的で、外向けばか

り、おもてなし、おもてなしということばかり。我々金沢市民があつてこそその金沢市だと思うんですね。もう少し金沢市民のために、例えばここにちょっとライトが欲しいよねとか、でも予算がないから後だとか、左義長ができなくて、神社のない町会は例えばバスをチャーターして尾山神社へ行つたとか、白山比咩神社へ行つたら、じゃ市からちょっと補助出すよとか、そういう金沢市民のために予算を。何か最近、余りにも外向け、おもてなしに予算を使い過ぎておるのではないか。お人好しにもほどがあるんじゃないかと、私は正直そう思いますが、いかがでしょうか。

【中西利雄市民福祉常任委員会委員長】

貴重な御意見ありがとうございました。

実はマラソンの収支については、私どもの委員会にもきっちりまだ報告されておりません。ただ、ざっくりとした話で黒字を計上したというような報告ぐらいしか聞いておりませんので、改めて実行委員会のほうから報告があつた時点で、またホームページ等々で公表できるものであればしっかりと対応させていただきたい、このように思っております。

【参加者】

お金の使い方ということで、マラソンとは全然違いますけれども、今度3月議会で議員報酬をいよいよ3万円アップするようなことが新聞に、答申されて市長のほうで考えているというようなことで、3月議会に上程されるやに聞きます。

さて、この3万円アップというのは20年ぶりだから上げるということが一つの理由です。20年据え置いたままの現在はどうかというと、中核都市で5番目なんです。人口は11番なのに、20年据え置いた議員報酬が5番目の高さにいる。それを上げるということが一つ。

それから、期末手当、これはどうなっているんですか。12月の期末手当が出たときには、金沢市の広報では3.1カ月と書いてありました。しかし、予算を見て給与費を見てみると、議員報酬に3.1を掛けても期末手当にならないんです。事務局へ聞いてみますと、月額報酬に40%割増しをして、それに3.1を掛けて支給していると、こういうことだそうです。市民はそんな40%増しになっている対象額だということを知りません。議会だよりには3.1カ月としか書いてありません。

このことについて、どうなんでしょうか。正確な情報を流して、市民の皆さん、どうですかと。我々の報酬はこれでどうでしょうかというのが本当に政をやる議員の方々の大事な視点じゃないでしょうか。市民に先立って憂い、市民におくれて楽しむ。先憂後楽というのが政のやり方の大事な心がけでないでしょうか。今の皆さんのやり方を見てみると、市民に先んじて楽しみ、そして後になつても憂えないような、そんなやり方のような気がします、意見ですから答えなんかは要りません。どうかひとつこういう意見もあるということをお聞きになってください。

以上です。

【中西利雄市民福祉常任委員長】

ありがとうございました。

貴重な御意見です。所管の事項ではございませんので、御意見として承りました。

【参加者】

金沢マラソンの運営で1点だけ意見を申し上げさせていただきたいと思って参りました。私はどこかのチームに入っているわけではないんですけれども、年間10本ほどフルマラソンを走っておりまして、東京、大阪、京都、神戸、長野、湘南、かなりメジャーなところ、ラッキーなところもあるんですけれども当選させていただいて大体走らせていただいております。

その中でも金沢マラソンがすばらしかったということ自体、私も感じておりますので、それは今まで講評されているとか、いろんところで意見のあるとおりでと思います。また、先ほどランネットとかありましたけれども、いろんところでエイドの件などを初めとしていろんところで意見があったということころはそのとおりで、皆さん多分運営される方は御理解いただいていると思います。

1点だけランナーの立場で申し上げたいのは、エントリーのことなんですけれども、エントリーの方法は大きく分けて2つあるんですけれども、申し込みは、抽せんする方法と先着順の2つがあります。東京、大阪、京都、神戸とかは全て抽せんなんですけれども、湘南ですとか長野ですとか同等規模、もっと大きなところでも先着順でやっているところがあります。要は早い者勝ちなんですけれども、ランネットで何月何日夜8時スタートというふうな形で、そこに集中することは事実なんです、そういうやり方をやっているところもあります。

私は、この規模のマラソンで、特に抽せんというところがなくてもいいのかなというふうに思っています。たしか北陸中日だったと思うんですけれども、記事では、11月15日、神戸とぶつかって、両方当選した人が神戸へ流れてしまって追加募集したという話もありますけれども、一括募集してしまえば2時間とか3時間で終わると思うんですが、その時点で振り込みも完了してしまうわけですから、そこで1万3,000人とか1万2,000人、確定という形になります。ですので1カ月かけて募集しなくてもというふうな話もありますし、こういうランナーの方は、どちらにしても3倍であるとする2万人ぐらいの方は希望しても入れないわけなんですけれども、先着順というふうな形にすると、本当に出たいんだという意識のある人が集まるということころもありますし、マラソン自体のランナーの質といいますか、モチベーションの高い人が集まるという形に、別に速い人という話でないと思うんですけれども、そういうふうな形になると思います。

ことは10月23日であり、そこにずらすと、ぶつかってくるのは大阪のほうなんです、大阪は10月30日なので、ことはぶつかりはしないんですが、10月の

4週にすると大阪とぶつかる可能性が出てくる。大阪とぶつかると、抽せんにすれば当選した人は大阪のほうに流れていって、また追加募集というふうな形もあって人員の確定に時間がかかると思うので。

シティマラソンというのは各地でやられていて、今後は淘汰する方向というふうな形も長い目で見てありますので、こういう抽せんという形じゃなくて、一括確定の形をとられるような運用をやられたほうが運営のほうもスムーズにいくんじゃないかなというふうに思っておりますので、ぜひ今後、ことしはもう4月何日から1カ月かけて募集するというふうな形になっておりますけれども、再来年以降かもしれませんが、そういうふうなところも検討していただけたらというふうに思っております。

ありがとうございました。

**【中西利雄市民福祉常任委員長】**

貴重な御意見ありがとうございました。

抽せんであったり、先着順を導入するべきではないかというような御意見だったというふうに思いますが、これについては、きょうも実行委員会の方々がお越しでありますので、その中でしっかりと議論をしていただいて、今年度、間に合うのかどうかわかりませんが、今お話しになったように再来年には導入できないか。そういうことも含めて、きちっと議論していただけるものというふうに思っております。議会としてもしっかりと申し入れていきたい、このように思っております。

**【参加者】**

市民でありながら審判のほうもやっております、それから金沢市の小学校の陸上教室のコーチを務めております。

金沢マラソンは、去年までは金沢市民マラソンが前身にありまして、それを皆さんの御尽力のおかげで、きょう来ていただいている皆さんのおかげと議員さん、市長さん、皆さんのおかげで大成功したということは認識しています。

去年まで小学校の指導をしております、野球のユニホームを着ていたりサッカーのユニホームを着て、あらゆる小学校、中学校の生徒たちの走るという場所が市民マラソンにあったわけです。それを金沢マラソンに移行したことで、市民全体でランニングを楽しむという場所が一つ減りました。審判が例えば石川陸協の人数が少ない、それからボランティアを2日間にわたってさらに増強すること、それから観光地の金沢市内を走り回るといことがなかなか難しい中で、フルマラソン以外のものを実行していくということは難しいのかもしれませんが、何か教育の場、それから市民の場、ランニングに参加するということをここにうたってあるようなことで、またさらにやっていただけるということであれば、そういう場所が復活していくような動きがまたあったほうがいいのではないかなと。小学校の子どもたち、小さい子どもたちがいずれ金沢マラソン、地元で走りたいと

思ってくださいるような場所であることも一つの大切なことなのかなというふうに思っております。

大変なことだというのはわかっているので、それに向かって御検討いただければと思つての意見です。

以上です。

**【中西利雄市民福祉常任委員長】**

大変貴重な御意見ありがとうございました。

今の御意見も含めて、しっかり議会としても対応していきたいというふうに思っております。よろしくお願ひします。

時間が参りましたので、市民の皆様との意見交換はここで終了させていただきます。ありがとうございました。

## **6. 閉 会**

**【小間井大祐市民福祉常任副委員長】**

それでは、閉会に当たりまして、金沢市議会、久保洋子副議長からお礼の御挨拶を申し上げます。

**【久保洋子副議長】**

皆さん、お疲れさまでした。

本日は市民の皆様からも貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございました。また、関係団体の皆様方にも御出席賜り、貴重な御意見を賜りましたことを感謝申し上げます。皆様の御協力により、本日は活発な意見交換ができたのではないかというふうに思っております。

金沢マラソンは、経済効果が高かったという評価が出ておりますし、ランナーの皆様方、それからボランティアの方々、そしてまた沿道で応援された方々のお力をいただきながら今後とも進めていけばよろしいんじゃないかというふうに感じているところです。きょういただいた御意見を議員一人一人が真摯に受けとめまして、次回以降の金沢マラソンに反映させていければなよろしいかというふうに考えております。今後とも忌憚のない御意見をいただきながら議会として発信してまいりたいと思っております。本日は本当にありがとうございました。

また、最後になりましたけれども、市民の皆様も遅い時間まで御出席賜りましてありがとうございました。

お礼を申し上げまして閉会の挨拶といたしたいと存じます。ありがとうございました。(拍手)

**【小間井大祐市民福祉常任副委員長】**

ありがとうございました。

それでは最後になりますが、受付の際にお渡しした封筒の中にアンケートが入っておりますので、お手数をおかけしますが、御記入の上、お帰りの際に受付ま

でお渡しください。

なお、次回の意見交換会ですが、来週2月24日水曜日午後7時より金沢美術工芸大学において金沢美術工芸大学をテーマに開催いたしますので、お時間がございましたらこちらにもぜひ御参加いただければ幸いです。

それでは、これで意見交換会を終了いたします。本日はお忙しい中、御参加をいただき、まことにありがとうございました。(拍手)

以 上